



# 株式会社セック

Systems Engineering Consultants Co.,LTD.

<http://www.sec.co.jp/>

証券コード：3741

## 2006年3月期中間決算 説明資料

2005年11月17日

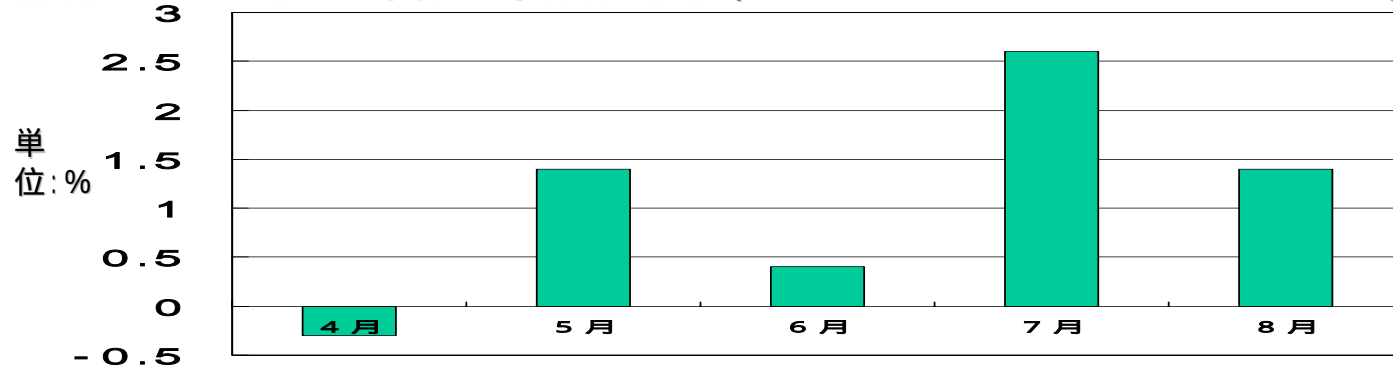
# 2006年3月期 中間決算概要

# 事業環境とトピックス

## 2005年9月中間期の事業環境

IT需要の伸びは**横這い**とも言える状況だった

情報サービス業売上高前年同月比推移(経済産業省:特定サービス産業動態統計)



お客様からの**厳しいIQCD改善要請**が依然として続いていた

**Q**:品質・機能    **C**:価格    **D**:開発期間

## 2005年9月中間期のトピックス

2005年9月01日 JASDAQ制度信用銘柄となる

2005年9月26日 JASDAQ貸借銘柄となる

# 2005年9月中間期の総括

## 中間期の成果

- 主体的ビジネスの核となるニューエレメントの品揃え充実
  - 位置情報サービス技術の製品化完了(製品名: airLook)
  - 地上デジタル放送技術の製品化の目処がつく(開発コード: airCube)
- 携帯電話端末への新しい要素技術実装で技術ノウハウ獲得

## 中間期の反省

- 中間期業績見通し未達 - - - 前年同期比「減収増益」
  - 前記の成果を得るために投入した経営資源量に見合う売上高を当中間期内に計上できなかった

今後に期待できる前向きな成果が得られた中間期

# 損益計算書

単位:百万円

	2006年3月期 中間決算	2005年3月期 中間決算	前期比
売上高	1,141	1,180	3.3%
売上原価	839	851	1.4%
売上総利益	302	329	8.1%
販売管理費	233	287	18.6%
営業利益 (営業利益率)	68 (6.0%)	41 (3.5%)	65.0% (2.5%)
経常利益	73	9	674.7%
中間純利益	45	3	1413.3%

売上原価 稼働率上昇による外注費の増加 **原価率の上昇**

販売管理費 中心的な研究開発テーマが製品化段階に移行したことによる研究開発費の減少  
経費節減と業務効率化などによる人件費の減少 **販管費率の低下**

営業外損益 前年同期のJASDAQ上場関連費用がなくなった

# 貸借対照表

単位:百万円

	2005年9月30日	2005年3月31日	増減
流動資産(百万円)	2,516	2,553	37
固定資産(百万円)	1,106	1,086	19
流動負債(百万円)	321	332	11
固定負債(百万円)	164	166	1
純資産(百万円)	3,136	3,140	4
総資産(百万円)	3,622	3,639	17
株主資本比率	86.6%	86.3%	0.3%
流動比率	782.1%	766.9%	15.3%
固定比率	35.3%	34.6%	0.7%

**流動資産の減少** 季節要因で売掛金の減少

**固定資産の増加** 製品化完了に伴う販売用ソフトウェア資産の増加  
適格年金の運用益発生に伴う前払年金費用の増加

**流動負債の減少** 未払外注費の減少に伴う買掛金の減少  
業績不振に伴う賞与引当金の減少

# キャッシュフロー計算書

単位:百万円

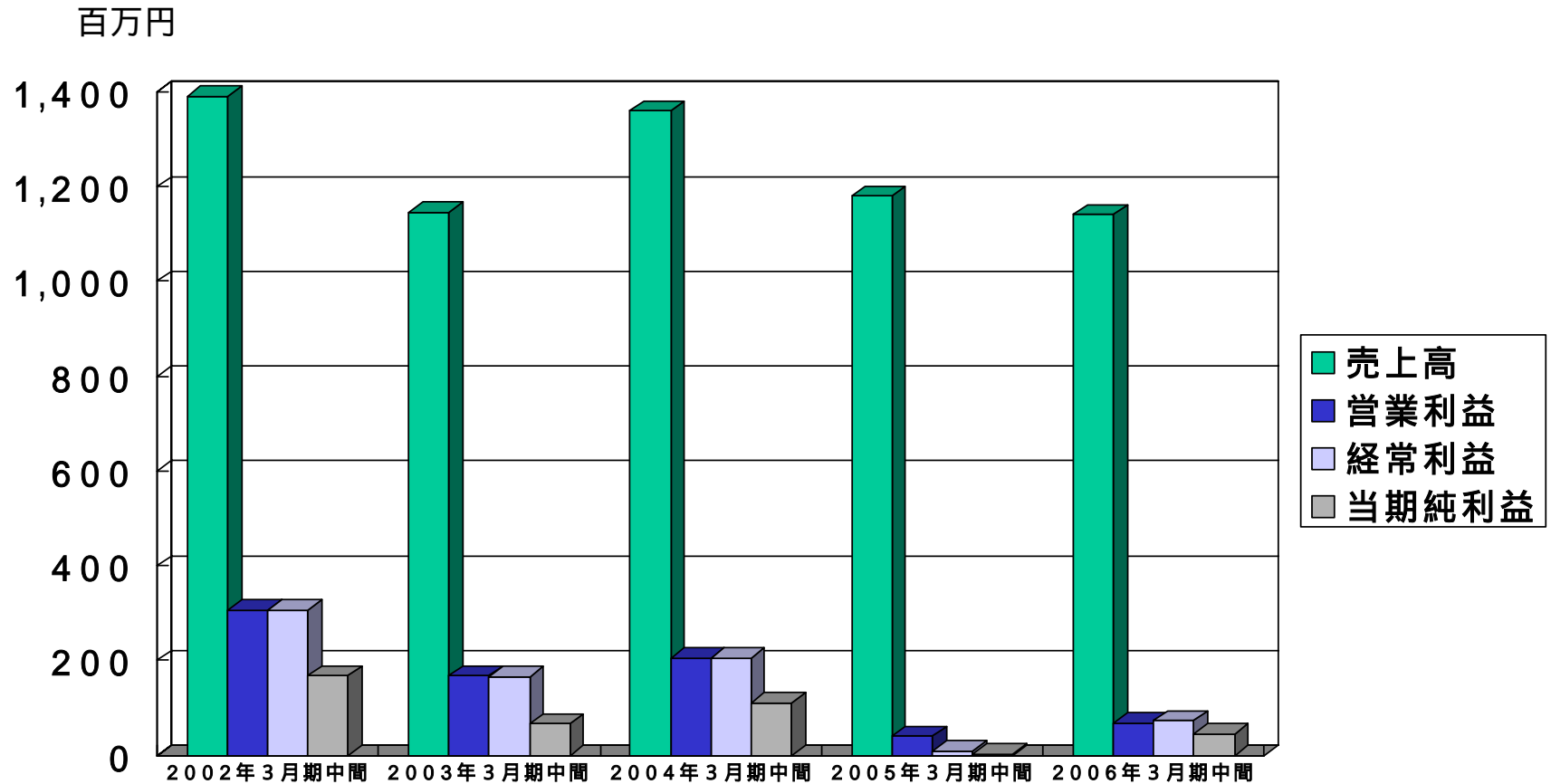
	2006年3月期 中間決算	2005年3月期 中間決算	前期比
営業活動によるキャッシュフロー	93	94	187
投資活動によるキャッシュフロー	25	253	227
財務活動によるキャッシュフロー	50	693	744
現金及び同等物の増減額	17	346	329
現金及び同等物期末残高	1,664	1,584	80
参考)長期性預金	400	300	100
参考)現預金 + 長期性預金	2,064	1,884	180

営業キャッシュフロー      **業績改善**により前年同期より増加

投資キャッシュフロー      大口の投資活動がなく前年同期より増加

財務キャッシュフロー      前年同期には公募増資と第三者割当増資があり、当中間期減少

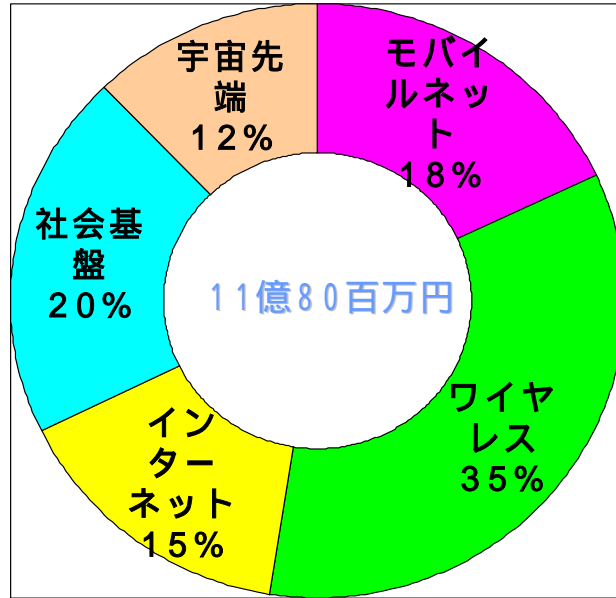
# 中間決算 業績推移



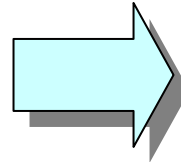


# BF別の状況

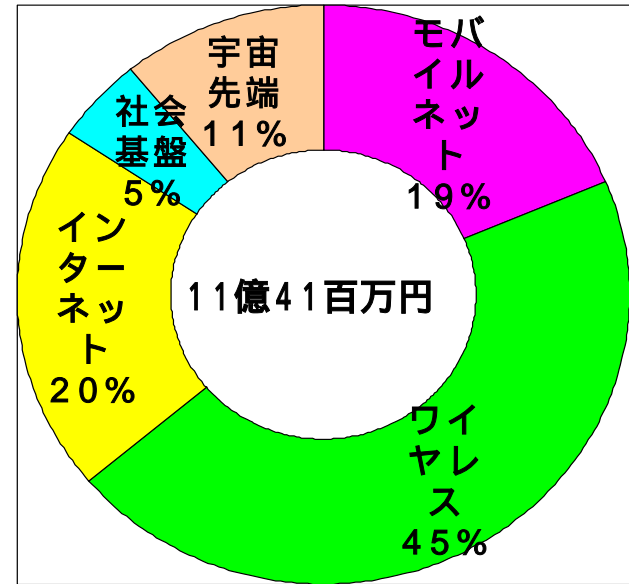
2005年3月期中間決算



売上構成比の  
変化



2006年3月期中間決算



モバイルネットワーク

コアテクノロジーサービス堅調、ただし低価格化  
基幹ネットワーク技術アプリケーション新規案件受注遅れ

ワイヤレス

豊富な商談に恵まれ戦略展開も可能となる

インターネット

新要素技術実装に多くの経営資源投入

商談は豊富、小型案件が多く業務効率低下

社会基盤システム

大型の技術アプリケーション案件受注

宇宙先端システム

業績安定化に向けた慎重な受注判断

その他

開始が下期にずれこんだ大型案件発生

Karearea販売

売上高前年同期並み、

利益面は堅調だったが前年同期を下回る

売上高大幅増加

利益面は期待を下回る

売上高大幅増加、利益面堅調

業績は計画通り前年同期を大幅に下回る

売上高は前年同期比減少、利益面は堅調

商談対応中心で販売実績低調

# 技術サービス別の状況

## 中間期売上高構成比率

単位：%

BF	エンベデッド ソフトウェア	コアテクノ ロジーサービス	技術アプリケー ション	合計
モバイルネットワーク	-----	61.1 (65.5)	38.9 (34.5)	18.6 (17.8)
ワイヤレス	100.0 (100.0)	-----	-----	45.2 (36.4)
インターネット	5.1 (4.1)	14.1 (47.9)	80.8 (48.0)	20.4 (18.1)
社会基盤システム	-----	-----	100.0 (100)	4.9 (14.5)
宇宙先端システム	52.4 (30.7)	25.1 (44.5)	22.5 (24.8)	10.8 (12.8)
合計	52.0 (41.0)	16.9 (26.0)	31.0 (32.5)	99.9 (99.6)

( )内の数字は、前期(2005年3月期)の構成比率

参考) ソリューションツール 0.1% (0.4%)

# 中間期末（2005年9月30日）の状況

## ■ 受注残高が前年同期を上回っている

社内の稼働率は堅調

## ■ 研究開発・製品化の中間期末状況

ユビキタス	OMA活動	VoIP (Voice over IP)などに注目
	地上デジタル放送技術	1seg・3seg・12segBMLブラウザの製品化を概ね完了(開発コード: airCube)
	ベクトル描画技術	ビジネス化に移行済み 製品化を概ね完了(開発コード: airtSmartG)
	位置情報サービス技術	位置情報サービス(LBS)プラットフォームの製品化完了(製品名: airLook)
ゼロ・レイテンシー(瞬時応答) - - - Karearea開発	ビジネス化に移行済み 大量データ対応の分散DB機能の開発を概ね完了	
エンベデッドソフトウェア開発技術強化	プロジェクト管理面の効率化などについて検討中	
ロボット	ロボット関連諸団体での活動を推進中	

# 2006年3月期 通期業績見通し

# 2006年3月期重点テーマ / 変更なし

## 景況認識

- IT需要は、伸び率は大きくはないものの、**全体としては拡大する**と予想されている。
- **事業環境は厳しい状況が継続する。**
  - - 案件の**小型化・低価格化・短納期化**がますます顕著

## 重点テーマ - - - **企業価値を高め、信用回復**

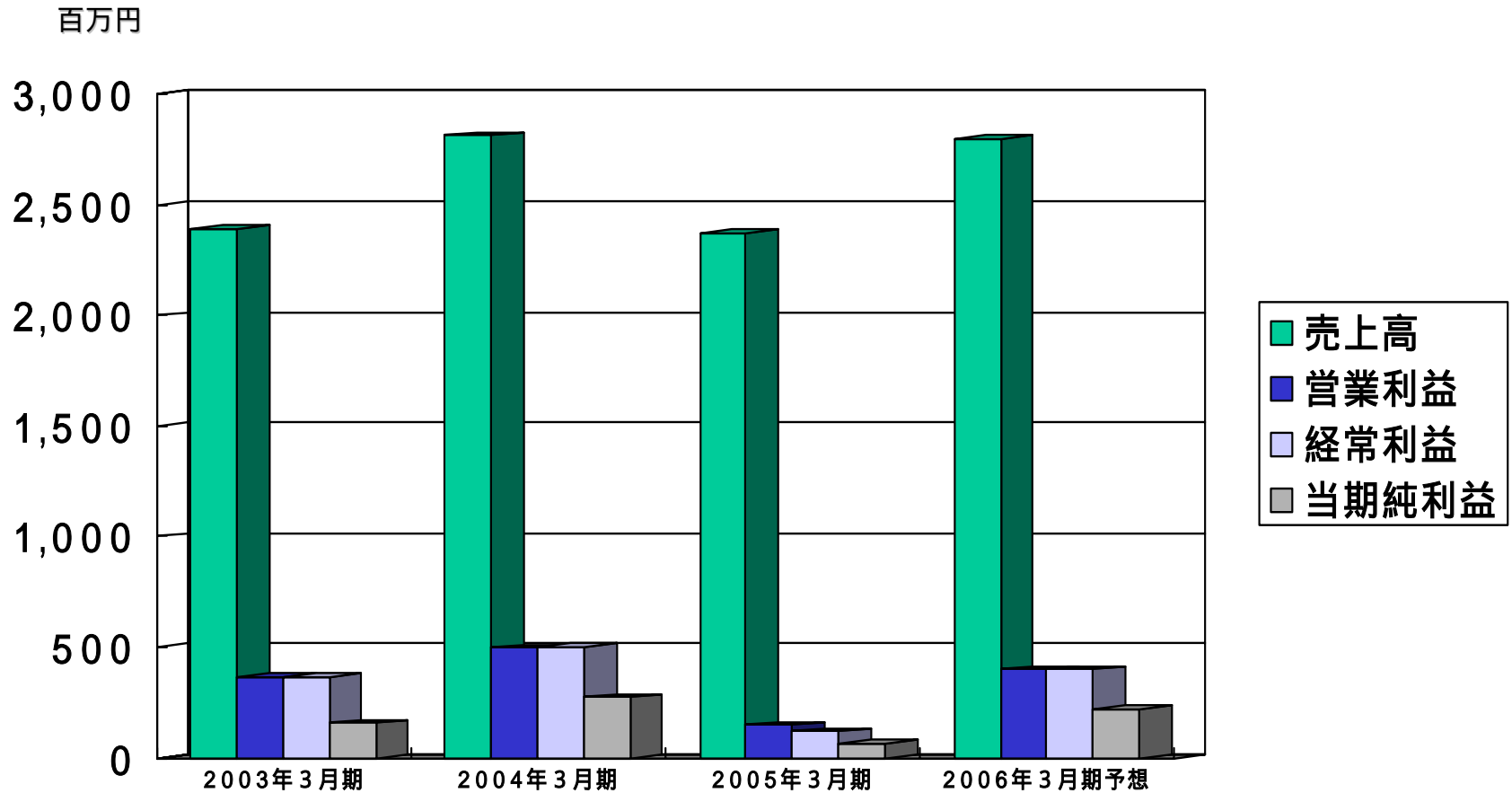
- **問題プロジェクトを発生させない。**
  - 組織的な第三者レビューの実施
  - 品質マネジメントシステムの徹底
  - プロジェクト管理の組織的支援
  - 内部統制機能の動員
  - その他、社員教育の強化、標準化推進、メトリックス整備など
- 「ユビキタス」を中心テーマとする、数年前とは大きく異なる需要構造下で、当社**業績の底固め**を行い、**新たな成長曲線**をスタートさせる。

# 2006年3月期業績見通し / 変更なし

単位:百万円

	2006年3月期 見通し	2005年3月期 実績	増減比率
売上高	2,800	2,373	+17.9%
売上原価	1,895	1,754	+8.0%
売上総利益	905	619	+46.1%
販売管理費	505	473	+6.7%
営業利益 (営業利益率)	400 (14.3%)	146 (6.2%)	+173.2% (+8.1%)
経常利益	400	118	+236.8%
当期純利益	220	66	+232.2%

# 通期業績の推移



# 株式会社セックの 事業戦略



# セックの技術サービス

ビジネスフィールド	技術サービス			その他 (ソリューション ツールなど)
	リアルタイムソフトウェア			
	エンベデッド ソフトウェア	コアテクノロジー サービス	技術 アプリケーション	
モバイルネットワーク		携帯電話端末搭載 ソフトウェア 国際標準技術	基幹ネットワーク システム	<b>RealtimePower</b> シリーズ  Karearea airCube air smartG airlook
ワイヤレス	携帯電話端末			
インターネット	車載端末 携帯情報端末	XML デジタル放送技術 ベクトル描画技術 位置情報サービス技術	Webシステム	
社会基盤システム			交通(航空,ITS),放送 防衛,物流,医療 位置情報サービス技術適用	
宇宙先端システム	人工衛星搭載機器 ロボット	オブジェクト指向 設計技術 ロボットソフトウェア 共通化技術	ロケット,人工衛星 天文関連システム	

# BF別事業方針

## モバイルネットワークBF

モバイル標準技術に関連して、標準決めそのものに参画するなど、**コアテクノロジーサービスを先鋭化**させ、お取引先を拡大  
通信事業者、電力会社など向け**基幹ネットワーク技術アプリケーション**の拡大

**FMC** (固定網とモバイル網の統合)の動向に注目

## ワイヤレスBF

国内向け及び海外向け携帯電話端末のエンベデッドソフトウェアでは、LinuxやSymbianといった**新プラットフォームへの適用力を強化**し、また戦略的に、対象とする**要素技術の幅を広げかつ技術的に深堀り**するなどして、お取引先及びお取引を拡大  
車載端末、情報家電などといった**様々なユビキタス端末**にビジネス領域を拡大

## インターネットBF

最新の**インターネット技術、地上デジタル放送技術、位置情報サービス技術、ベクトル描画技術**などのコアテクノロジーサービス、  
またこれら技術を駆使する**技術アプリケーション及びエンベデッドソフトウェア**

地上デジタル放送技術、位置情報サービス技術、ベクトル描画技術などの**ソリューションツール化**を推進

ASPなどの**ストックビジネス**を研究

## 社会基盤システムBF

交通(空港、ITS関連など)、防災、放送、物流、医療など、**社会のインフラを支える技術アプリケーション**の提供を継続

地方自治体や防災市場など向けに**位置情報サービス技術**に関わる**技術アプリケーションビジネス**を拡大

## 宇宙先端システムBF

**ロケット、人工衛星、天文分野**の**技術アプリケーション**で売上高のベースを確保

大学や他社との共同研究やロボットソフトウェア共通化活動を積極推進するなど、**ロボット分野**を拡大

# 主力BF - - ワイヤレスBF事業方針

## 売上高推移

	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期 中間決算	2006年3月期 (予)
売上高(百万円)	885	991	862	517	1,125
全社に占める割合(%)	37.0	35.2	36.4	45.2	40.2

## 中間期に獲得した要素技術・ノウハウ

地上デジタル放送技術

## ビジネス拡大に向けた課題

技術者不足、外注可能範囲が限定的

開発規模の巨大化によるビジネスのリスク拡大

複数取引先に同系統技術を供給することから、情報漏洩対策が必要

## 方針

新しい要素技術やノウハウを核とした主体的ビジネスで、発展性ある競争優位領域の確保と維持

開発技術強化に向けた研究開発

実効あるISMSの運用、セキュリティルーム増設など、情報漏洩対策の強化

安定的事業成長を期して、事業領域を情報家電などへ横展開

# 事業環境認識

## 情報社会の本格化

代替手段なきコンピュータ依存社会

- コンピュータシステムの**社会システム化**  
高性能化・高機能化・複雑化・大規模化などにもかかわらず  
**システムダウンが認められない**
- ボーダレス化**                      **低価格化**
- 社会の変化の速さ**              **短期間開発**

際限のないQCD改善（高品質・低価格・短納期）要請

何らかの差別化ポイントがないと**消耗戦**

ITによるメリットをご提供できなくなる

お客様不満足

# セックの基本方針

**QCD&I** をスローガンとするお客様中心ビジネスの推進

- - - **QCD** (品質・コスト・納期) を窮め、**I** (イノベーション) で飛躍

## ■ **QCD** 対応力の更なる強化

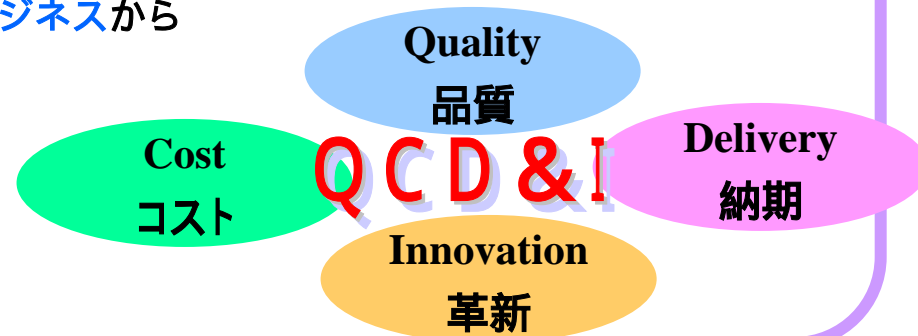
基本となるお客様満足度の獲得

## ■ **I** (イノベーション) によりITのメリットを提供

「New Element to New System」

- - 「New Element」による「New System」で不可能を可能に  
それが最高のお客様満足度に、ビジネスの高付加価値化に繋がる

「New Element」を根っこに据えた主体的ビジネスから  
ひいては社員数に制約されない事業成長へ



## 正攻法での取り組みを粛々と

### 組織的対応の整備、プロジェクト管理のレベルアップ

品質の可視化の徹底(Qの欠損はCDの制御を不能とする)  
リスク管理の強化  
コミュニケーション緊密化(対・取引先、プロジェクトチーム内など)

### 不採算プロジェクト撲滅

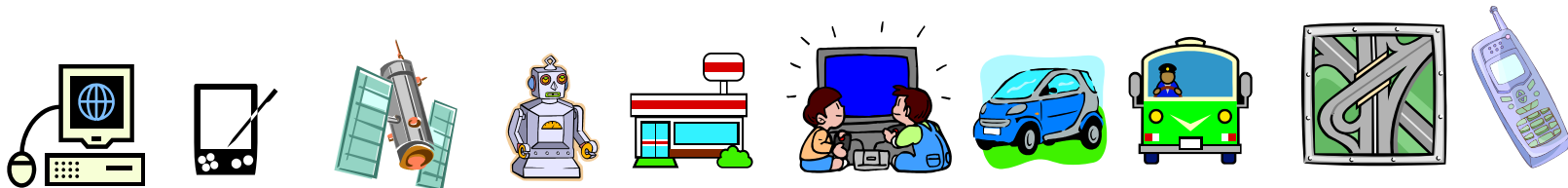
徹底したムダの排除  
見積み精度向上に向けた標準化推進、実績データ整備  
採算管理の強化  
内部統制機能の動員  
社員教育、社内制度の改善

### 短期開発技術の強化

研究開発のテーマとして「短期開発技術」を採り上げる  
開発環境管理・技術環境管理の体制強化

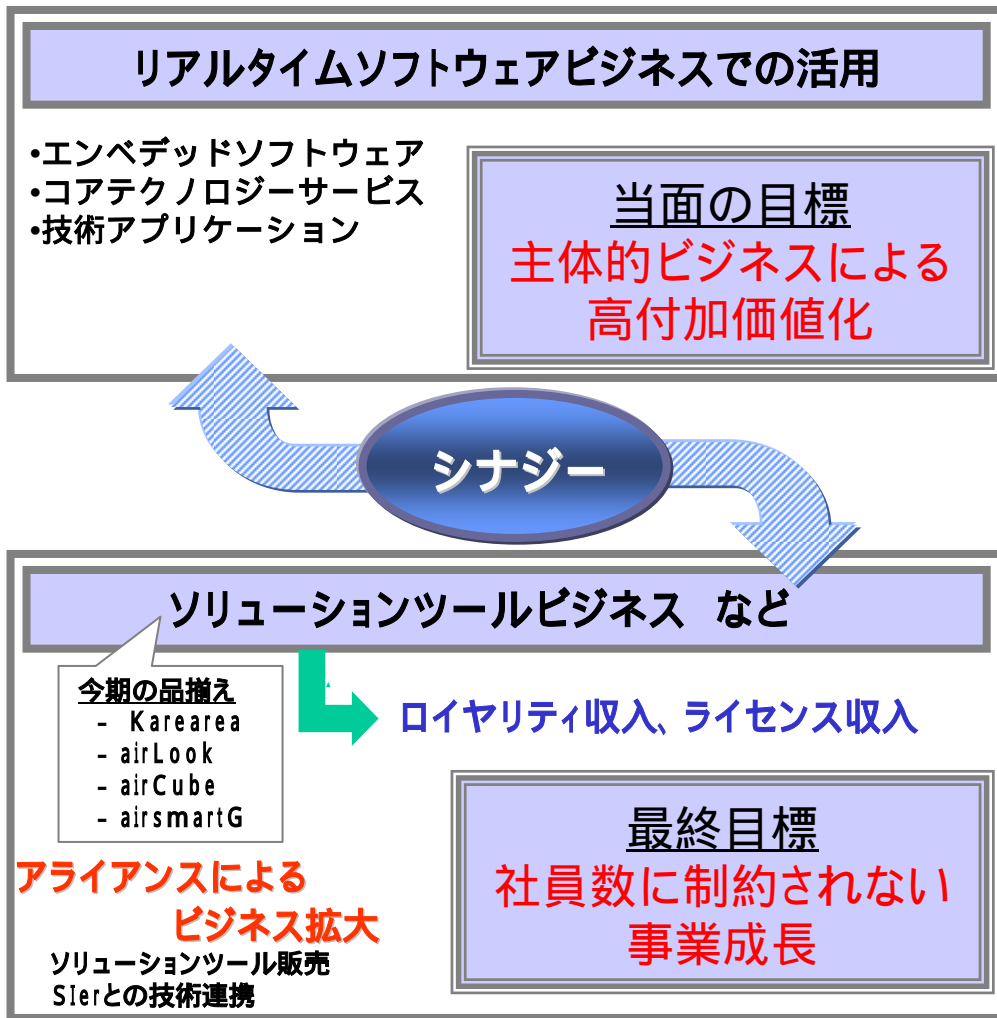
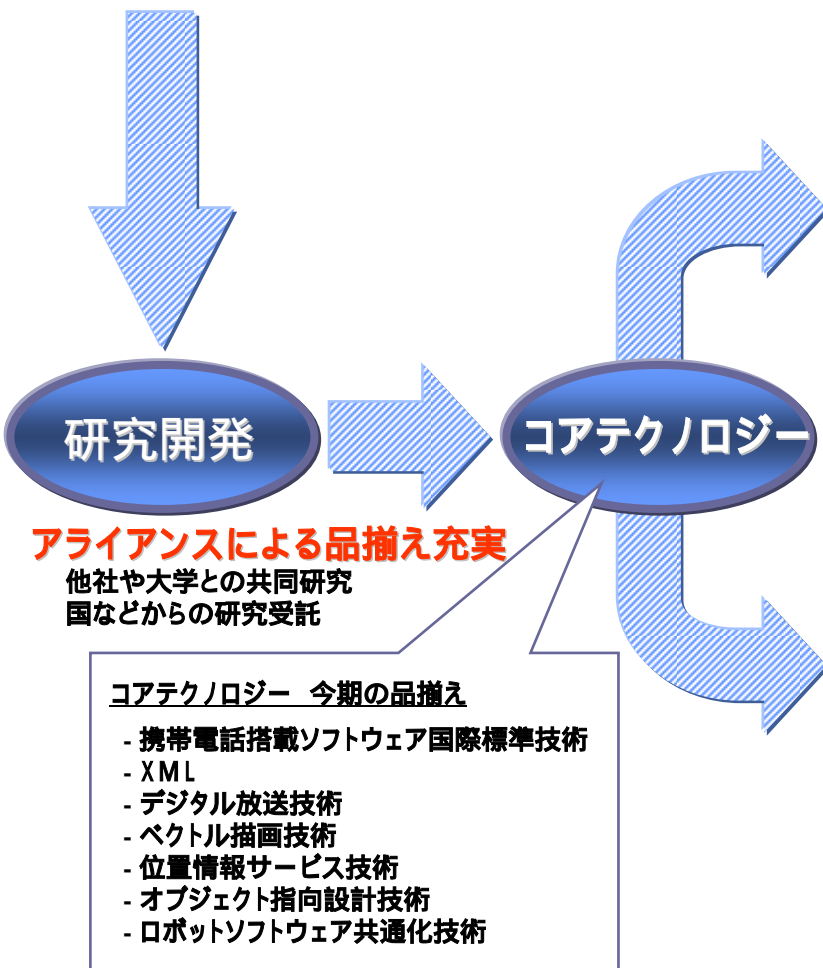
キーワード  
**ユビキタス**  
Ubiquitous

我々の身の回りの全てのものにコンピュータを埋め込んでネットワークに接続することで、我々の生活を、安全、安心、快適、効率的に、また環境負荷を低減化する技術。



# ビジネスモデルの変革

社員数に比例した事業成長







は、位置情報サービスを実現するプラットフォーム製品です

ユビキタス社会にあっては、「モノ」も情報の発信源  
リアルタイムな位置情報  
軌跡、履歴情報

位置情報サービス(LBS)

= GIS (地理情報システム) + GPS (全地球測位システム)

特徴

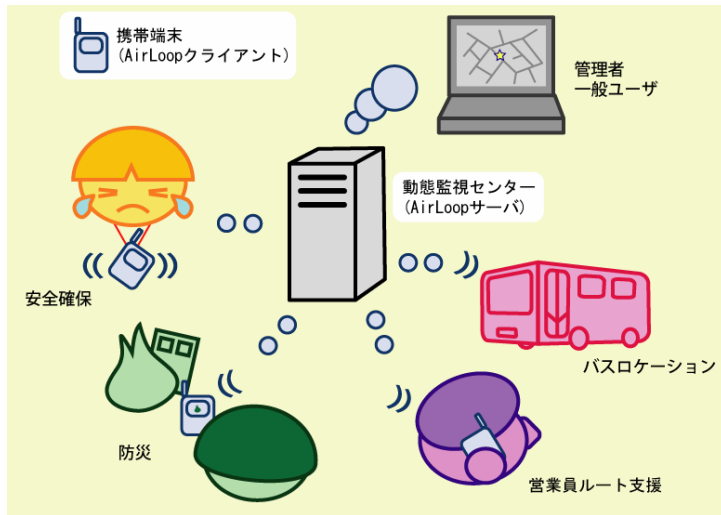
はオープン素材を活用

LBSはインフラ オープン環境であるべき

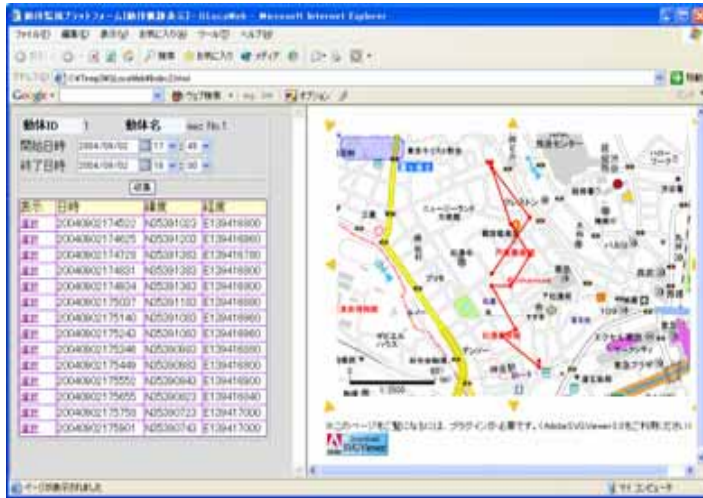
は既存のGISと連携可能

既存の資産を活かしながらGPSの情報を収容

は通信コストを抑え、小さなセンタシステム



## 除排雪車ロケーションシステム



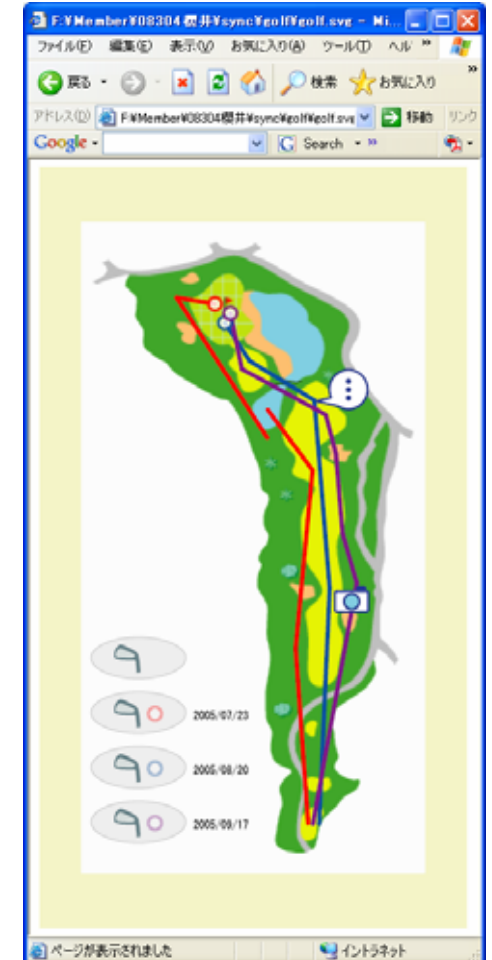
安否確認機能付  
災害情報管理システム



## 特定エリア進入離脱監視



## ゴルフロケーションシステム



## air Cube は

地上デジタルテレビ及びラジオ放送と通信連携を可能とする技術です。

## air Cube 搭載対象機器

携帯電話 / 車載端末 / PC向け地上デジタルTV受信カード / 地上デジタルTV

## air Cube のビジネス

- **ライセンスビジネス**  
開発ライセンス (SDK: Software Development Kit) の販売  
特定のAPI (Application Program Interface) やプラットフォーム、プログラムにおけるソフトウェア開発のためのツール集の販売
- **ロイヤリティビジネス**
- **コンサルティングビジネス** (防災情報、公共情報コンテンツ制作支援など)
- 上記を包含した地上デジタルテレビ / 地上デジタルラジオアプリケーションの受託開発
- **コンテンツ制作支援** (オーサリングツール、PCビューア等) 製品化検討中

## air Cube リリース計画

2006年3月期中

- 12seg, 3seg, 1segハイブリッド対応のBMLブラウザ
- デコーダ (DMUX, PSI/SI, DSM-CC等)

## ビジネスの進捗状況

**車載端末**(カーナビゲーションシステム)向けBMLブラウザ  
車載端末メーカー向け試作機完成済

**地上デジタルTV受信カード**向けBMLブラウザ

地上デジタルTV受信カードメーカー向け試作機完成済

インターフェイス: CF(コンパクトフラッシュ)

PCカード、USB、SDIO、MiniPCI、SSP等も対応予定

OS : WindowsCE、WindowsXP、Linux

用途 : PDA、ノートPC、専用端末、カーナビゲーション  
MP3ビデオビューワ、ゲーム機等

**デジタル家電**向けBMLブラウザ

デジタル家電プラットフォームベンダ向け試作機の開発準備開始

**携帯端末**メーカー向けBMLブラウザ

半導体メーカー向け試作機の開発準備開始

## air smartG は

SVG (Scalable Vector Graphics) データを忠実にレンダリングする技術です。

## air smartG 搭載対象機器

PC / 携帯電話 / PDA / 車載端末 / 情報家電 / その他、街角案内表示板など

## air smartG のビジネス

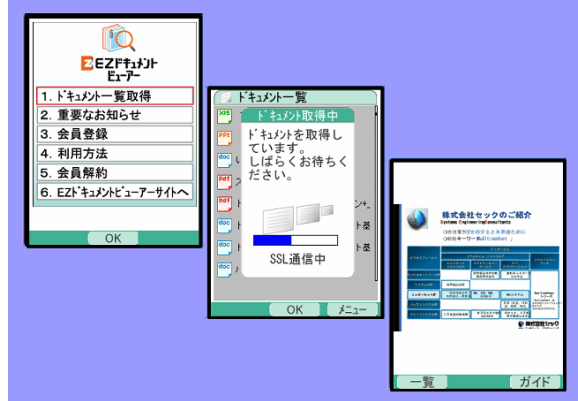
- ライセンスビジネス  
開発ライセンス (SDK: Software Development Kit) の販売
- ロイヤリティビジネス
- コンサルティングビジネス (コンテンツ制作及び各種コンテンツ変換サービスなど)
- ASPなどのストックビジネス (電子地図、CAD図面などのSVGコンテンツ配信サービス)

## air smartG リリース計画

2006年3月期中

- 携帯電話向けSVGブラウザ  
DoCoMo、au、vodafone向け
- 特殊機器 (街角案内表示板) 向けSVGブラウザ

KDDI: EZドキュメントビューアーに採用



愛知万博ナビゲーションボードに採用



車載端末 (ITS世界会議愛知・名古屋に出展)



ストリートボード実証実験に採用





Kareareaは、世界最高速レベルのXML検索性能を発揮するだけでなく、業界で初めてXMLによる高速多次元集計を実現した、全く新しいタイプのXMLデータベース製品です。

## XML適用の広がり

- 企業間取引
  - ▶ RosettaNet
  - ▶ cXML
  - ▶ Webサービス
- 財務情報
  - ▶ XBRL
- 放送
  - ▶ BML
- 新聞
  - ▶ NewsML
- 地図情報
  - ▶ G-XML
- マルチメディア
  - ▶ SMILE
  - ▶ SVG
  - ▶ MPEG-7
- 音声
  - ▶ VoiceXML
- バイオ
  - ▶ BSML
- 化学
  - ▶ CML
- 数式
  - ▶ MathML
- RFID
  - ▶ PML
- 医療
  - ▶ MML
- 放送・新聞
  - ▶ BML
  - ▶ NewsML
- 観光
  - ▶ TravelXML
- 電子出版
  - ▶ JepaX

大量のXMLデータを高速に処理する必要性

## Kareareaの特徴

- 高性能
  - ▶ 数百万ノードからの検索、ソート、集計がミリ秒オーダー
  - ▶ チューニング不要、インデックス不要
  - ▶ XMLによる最大4次元までの高速多次元集計
- 高機能
  - ▶ ユーザ定義関数による高度な検索・集計
  - ▶ RDB感覚のソート、多段階絞り込み検索、検索結果の結合
  - ▶ 付属GUIツールによる定型業務構築
  - ▶ RDB連携、データの一括ロード/セーブ
  - ▶ 分散データベース機能
  - ▶ 開発用Java API



## Kareareaの主な適用実績

特許情報統計システム  
衛星観測データリモートモニタシステム  
製品原価計算システム  
世論調査アンケート集計システム  
衛星テレメトリデータ分析(論文発表)  
官公庁向け変更・構成管理システム  
博物館システム

太陽観測衛星統合データベースシステム  
衛星観測データベースシステム  
仮想天文台データベースシステム  
製造業向け設計支援システム  
電子番組表システム  
商品企画データベースシステム

# シナジー追究



( ) 位置情報をキーとした地上デジタル放送コンテンツの自動生成  
 平時) バスなどの公共車のリアルタイムな位置情報や自治体公報  
 などをテロップ放送で送出  
 災害時) データ放送枠を利用して災害情報発信  
 メリット) 放送には輻輳がないので確実に情報が届く



# 社員数に制約されない事業成長を目指して

「ニューエレメント」による主体的なビジネスで高付加価値化

当面の「ニューエレメント」

携帯電話端末国際標準技術

地上デジタル放送技術

ベクトル描画技術

位置情報サービス技術

Karearea

ロボットソフトウェア共通化技術

オブジェクト指向設計技術 など

研究開発・製品化活動で「ニューエレメント」の品揃え充実

## 新たなビジネスモデルへの挑戦

ライセンスビジネス

ロイヤリティビジネス

ASPなどストックビジネス

アライアンスによるビジネス

## アライアンス推進

ソリューションツール販売

他社や大学との共同研究

営業面、技術面、製造面などでのwin-win連携

# この資料についてのご注意

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、見通し、戦略など、及び将来の業績に関する見通しが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものでなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。

# ありがとうございました

ユビキタス社会の安全と発展のために

*“ Realtime@net ”*

本資料に関するお問い合わせ

株式会社セック IR室

電話 03 - 5458 - 7727